



＜来週の資金需給予想とイベント予定＞

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
8/9 (月)				振替休日			米：アトランタ連銀総裁、講演 米：リッチモンド連銀総裁、講演
8/10 (火)	+ 200	+ 200	+ 400	国庫短期証券 発行・償還 (3M・6M)	CP等買入 補充供給 ▲ 300 + 100		日：国際収支 (6月) 米：クリーブランド連銀総裁、講演
8/11 (水)	トン	▲ 3,000	▲ 3,000				米：アトランタ連銀総裁、講演 米：カンザスシティ連銀総裁、講演 米：CPI (7月) 米：財政収支 (7月)
8/12 (木)	+ 1,000	▲ 9,000	▲ 8,000	源泉税揚げ 国債発行(30年)			日：日銀営業毎旬報告(8月10日現在) 米：新規失業保険申請件数 (7日終了週) 欧：ユーロ圏鉱工業生産 (6月) 英：GDP (2Q)
8/13 (金)	▲ 1,000	+ 76,000	+ 75,000	年金定時払い			米：ミシガン大学消費者マインド指数 (8月)

＜インターバンク＞

日銀当座預金残高は週初537兆3,300億円から始まった。その後は4日の税・保険揚げを主因に同残高は減少し、529兆3,100億円まで越えた。

無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.043%から始まり、その後は、地銀業態を中心とした調達ニーズの高まりから同金利は上昇の一途を辿り、週末6日は△0.028%となった。ターム物は、1W～2W物を中心に、主に△0.040%～△0.020%の水準で出合いが見られた。

来週の主な予定は、国内では10日に国際収支 (6月) の公表、海外では11日に米CPI (7月)、12日にユーロ圏鉱工業生産 (6月) の公表などが予定されている。

〔無担保コールレート〕

	予想レンジ (%)
O/N	△0.070 ～ 0.001
1M	△0.050 ～ 0.020
2M	△0.010 ～ 0.050
3M	0.000 ～ 0.100
6M	0.000 ～ 0.130

〔オープン市場〕

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ～ 0.000
CP 3M	△0.080 ～ 0.000

＜レポ＞

足許GC取引は週初△0.085%近辺の出合いから始まった。短国買入オペがオファーされた翌3日の取引では、一時的に△0.09%台まで低下するも、その後は△0.08%台が出合いの中心となった。以降は週後半まで△0.09%～△0.08%で推移し、短国3Mと6Mの発行が重なった週末の取引では、△0.07%台まで上昇して越えた。SC取引は2年409～426回債、5年144～148回債、10年333～363回債、20年163～177回債、30年69～71回債、40年9～14回債などに引合いが多く見られた。

＜C P＞

今週の入札発行総額は約3,700億円で、週間償還額 (約1,800億円) を上回った。入札発行市場は、石油や鉄鋼業等で大型の発行が見られた他、良好なCP発行環境が継続していることから、多様な業種で発行が見られた。発行残高は先週末の25兆926億円から、5日時点で25兆3,126億円に増加した。発行レートは、ディーラーのCP引受需要が強く、発行頻度の低い銘柄等では深いマイナスレートでの約定が観測され、△0.08%台～0%近辺での出合いであった。

来週の週間償還額は、約4,700億円程度となっている。発行市場は、夏季休暇を迎え、落ち着いた展開を見込む。発行レートは、投資家のコロナオペ担保目的等のCP引受需要が強く、オペ対象となる希少銘柄や期末越の案件等に対しては引続き深いマイナス金利での出合いが予想される。13日に、CP等買入れオペが5,000億円程度オファーされる予定。

＜TDB＞

8月5日の6M1013回債(2022年2月10日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1189% (前回債△0.1022%)、平均落札利回り△0.1189% (前回債△0.1062%)、8月6日の3M1014回債(2021年11月8日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1074% (前回債△0.1176%)、平均落札利回り△0.1106% (前回債△0.1215%) となった。来週は13日に3Mの入札がある。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。